



1	火	リトミック
2	水	交通安全教室
4	金	読み聞かせ(5歳児)
7	月	給食費振替日(3歳児以上)
8	火	にじぐみ保育参観 / ピョピョひろば
〃	〃	牛久二小へ芝遊び(5歳児)
10	木	カレーの日
11	金	ひかりぐみ保育参観
15	火	ほしぐみ保育参観
16	水	おべんとうデー
18	金	不審者対応訓練
24	木	誕生会 / 内科検診(15:00~)
25	金	避難訓練



秋の日はつるべ落とし
暗くなるのが早くなった。
天候不順の九月・十月
猛暑が続く、そして急な寒さに
日本には四季があったのに
夏から一気に冬に。
天高くどこまでも深い青空
澄み切った空気、美しく変化する自然
あの秋を味わうこともなく去ってしまう
子ども達は、そんなことに気を留めず
落ち葉と一緒に舞い
元気に走る。

伝統の「ふたばよさこいソーラン」

・運動会では、毎年5歳児が伝統の踊り「ふたばよさこいソーラン」を踊っています。子ども達は、入園した年から年長児の「ふたばよさこいソーラン」の曲を耳にし、踊りを自然に覚えていきます。今年の0歳児・4歳児の子ども達も曲が流れると「どっこいしょどっこいしょ」と歌いながら踊っています。そんなことを思いながら今年の年長児の演じる姿を見て、職員皆胸が熱くなる思いでした。感動をありがとう！

今月の予定の中から・・・

☆保育参観について

・11/8 にじぐみ、11/11 ひかりぐみ、11/15 ほしぐみが参観となりますが、親子で楽しめる活動を考えています。詳細は、保育参観の手紙をご確認ください。

●カレーの日(10日)

・今月は、カレーの食材をぞうグループの子ども達がカスミに買い物に行く予定です。毎回、皆で協力して作るカレーの味は格別のようにです。大きなお鍋の中身も空っぽになるくらい、おかわりをする食欲旺盛な子ども達です。

●おべんとうデー(16日)

・おべんとうの日は、登園直後から「おべんとう食べたい!」「〇〇が入ってるんだあ。」と本当に楽しみにしています。朝からお忙しいとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

●内科検診(24日) 15時

・当日欠席の場合も、受診時間に来園して頂き、全員の方の受診をお願いします。

●誕生会(24日)

・今月も、誕生者をみんなで祝いします。お祝されてうれしい気持ちと、お友達とお祝したいと思う気持ちが育ってきてくれてるようでもとても嬉しく感じます。

★お知らせ

・来週から、フードの無い薄手のジャンパーの

ご用意をお願いします。

ジャンパーは、月曜日から金曜日まで園で預かり、週末には持ち帰り、洗濯をお願いします。また、ジャンパーを掛ける子ども用ハンガー(プラスチック素材の物)に名前を書いて一緒にお持ち下さい。

・先月末で、非常勤の平山美穂先生と保育補助の佐藤一雄先生が一身上の都合で退職となりました。

・非常勤看護師の若林かずは先生が入籍して稲葉かずはになります。よろしくお願いします。

運動会が終わって

コロナの為、運動会が



中止になったり、参加者を制限したり、お弁当なしで、縮小になった。やはり運動会は、秋晴れの青空の下で、家族そろって思い切り体をうごかし、笑い転げて、お昼には輪になってお弁当を広げる、村祭りの情景が良い。来年こそ、コロナ前の運動会に戻りたい。▼小学校の近くに住んでいる友人が「運動会の季節になるとゆううつになる。なんであんなに叱咤・命令しなければならぬのか」と言っていた。ある園を訪ねた時、園庭でマーチング、組体操、リレーと、運動会の練習を延々と行っていた。子ども達は笛に従って一糸乱れず動いていた。笑顔がなかった。疲れと諦めが漂っていた。競う楽しさもあるが、大切なのは思い切り体を動かし、全力を出し切る爽快感、楽しさを味わうことである。勝ち負けより、そこを評価し誉めるようにしている。負ければ悔しい。勝負だけだと、屈辱を味わい、劣等感を持つことになる。それだけなら運動会は無用である。負けても全力を出し、楽しむことを、評価し大切にしている。▼親や教師は、指示命令どおり、一糸乱れず動いていると、とても満足し、安心する。自由に、思い通りに行動していると

不安になる。だから大人はマーチングが好きである。マーチングは隊形変化しながら演奏するので、厳しい指導と、練習が欠かせない。遊ぶ時間もなくなる。幼児の発達・特性を知ると、それがいかに有害であるか分かる。幼児は大人の圧力の前では無力である。強い指示・命令の下では従わざるを得ない。これが続くと指示・命令の通りには動くようになるが、指示待ち人間になってしまう。これからの時代は、ますます自由で、自発的・自主的・主体的な人間が必要になる。

左記は、昔出していた本園のパンフレットの文章です。

あなたは、今、いきいきと生活していますか・・・いきいきと生活している人は、自主性が実現されて、常に創造的に物を考える人です。

子ども達の瞳が輝いていない時には、その保育がいかにまとまっており、何かを良くやったとしても、いきいきしてるとは言えません。

大人は、子ども達が一糸乱れずに、動いていると感動して涙をながすことさえあります。それは『揃ってできた』ということに感動してのことです。

今までの教育では、自由が奪われ、個性は認められず、右へならえの服従を強制することが多かったからです。

幼児期は根っここの時です。花を咲かせることを急いではいけません。二度とない貴重な時だから・・・幼児期には幼児期にふさわしい生活をさせなければ取返しができません。子ども達が、豊かな自然の中で、自由にいきいきと生活する環境を守っていきます。

